熱源：ガス

かくれん房 スタートガイド

このガイドでは、かくれん房の使い始め、暖房のしかた、設定方法等を簡単にご説明しています。

使い方のポイント

シーズン始めは…

一番低い設定からスタート

つけ始めから強い設定にしますと、ガスメーターが止まったり（電気のブレーカーが落ちるのと同じ状態）、燃料がかかり過ぎてしまうことがあります。つけ始めは一番低い設定から始めてみて下さい。暖まり方が足りないと思ったら、１段階ずつ、様子をみながら温度を上げて下さい。土間コンクリートに蓄熱されれば、蓄熱を保つ程度の設定で構いません。

土間に蓄積されるまでに時間がかかります。

シーズン最初、かくれん房を立ち上げてから土間コンクリートに蓄熱され、室内が暖かくなるまでには時間がかかります。使い始めはまとまった時間（半日～１日程度）つけ、様子をみながら調整して下さい。

温度変更は「はやめ」に

かくれん房は土間コンクリートに暖かさが蓄熱されているため、温度変更をした場合は変化が反映されるまでにある程度時間がかかります。気温の変化があらかじめわかるような時は早めに温度変更しておくと良いでしょう。

「健康な温度」=「寒くない温度」

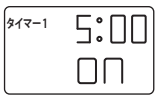
健康な温度環境は「家の中に温度差がないこと」です。さらに、天井、床、壁それぞれの面がほぼ均一に輻射熱で暖められている環境であれば、意外と低い温度でも寒さを感じないものです。どこへ行っても寒くない理想的な健康空間が実現できます。理想的な温度は、寝ている時は15～17℃程度、起きている時は18～20℃程度です。

それぞれのお宅に合わせた設定を

設定温度と運転時間 上手に組み合わせて。

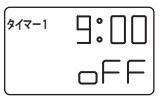
設定温度と運転時間（１日２回までのタイマー予約運転が可能）を組み合わせて、快適で経済的な使い方をご家庭で工夫してみてください。
低温でも、土間の暖かさが途切れないようにすると経済的なようです。

使い方参考例～タイマー予約を活用して。



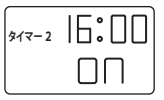
朝、起きる少し前にスイッチ オン。（タイマー1）

↓



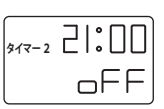
家族が外出、太陽が昇り、家の中が暖かくなったらスイッチ オフ。（タイマー1）

↓



午後、寒くなり始める前にスイッチ オン。（タイマー2）

↓



夜、就寝前にスイッチ オフ。（タイマー2）

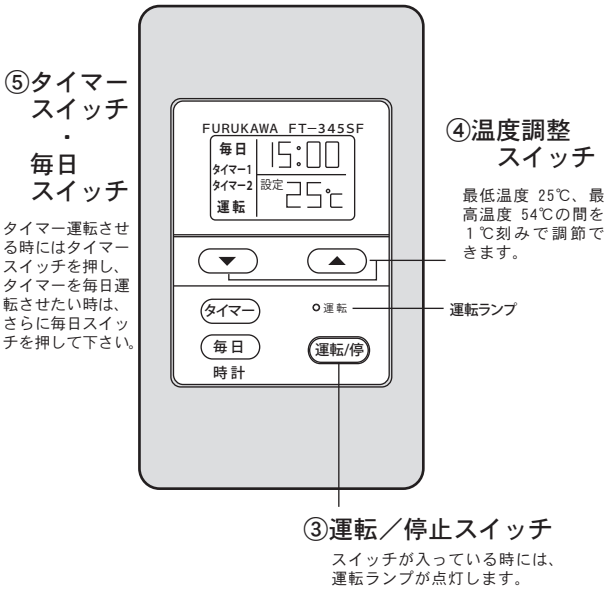
タイマー設定時刻は目安です。ご家族の生活パターンに合わせて、時刻設定をしてみてください。

リモコンの名称とはたらき

かくれん房は２種類のコントローラーで操作します。どちらも運転スイッチを入れておけば、
設定温度を一定に保つために運転を自動で行います。（詳しい使い方は付属の取扱説明書に説明がございます。）

〈土間コン温度コントローラー〉

- １日２回までのタイマー設定できます。（タイマー１、２）
- 連日タイマー運転が可能です。（毎日ボタン）

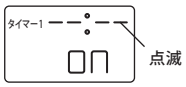


土間コンクリート内の温度を設定するスイッチです。運転／停スイッチでオン／オフ。設定温度に達すると自動的に電源オフになるため、低温設定（25～28℃）にしておけば経済的。

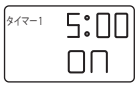
タイマー設定の仕方《タイマー設定例》

タイマー1…ON時間 5:00　タイマー2…ON時間 16:00
OFF時間 9:00　OFF時間 21:00

（タイマー）を３秒以上押す。時刻表示が点滅し、タイマー１のＯＮ時刻が設定できるようになる。

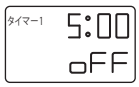


で時刻設定し、



（タイマー）押す

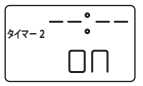
ON 時刻がセットされたと同時に、「OFF」の文字が表示され、OFF 時刻の設定ができるようになる。



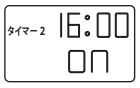
で時刻設定し、

（タイマー）押す

タイマー１の OFF 時刻の設定完了。同時に「タイマー２」の文字が表示され、タイマー２の ON 時刻設定ができるようになる。

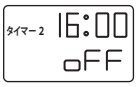


で時刻設定し、

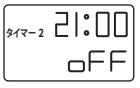


（タイマー）押す

タイマー２の ON 時刻がセットされた。続けて OFF 時刻を設定する。



で時刻設定し、

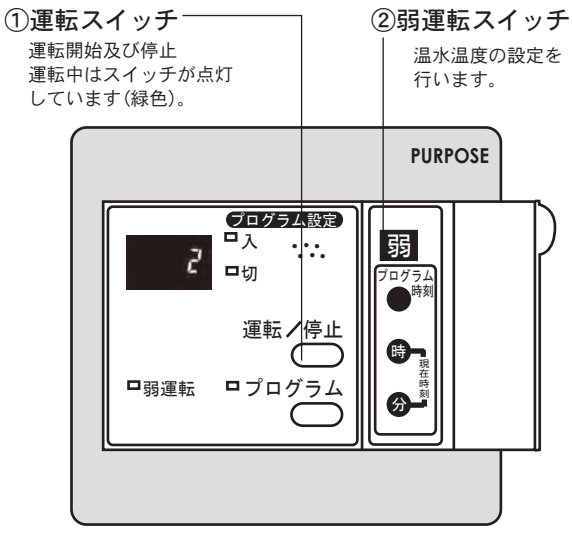


（タイマー）押す

タイマー２の設定も完了。通常の画面表示に戻る。

- タイマー機能を消す場合は、OFF 時間を ON 時間と同一にします。
- タイマー設定しないで１分間放置すると時刻表示の通常モードに戻ります。

〈ボイラーコントローラー〉



循環しているお湯の温度を調節するスイッチです。運転／停止スイッチで入／切。弱運転スイッチで湯温を調節。１～５まで設定できます。

操作方法

《運転開始》

① ボイラーコントローラーの運転／停止スイッチを押します。

② ボイラーコントローラーの弱運転スイッチで、湯温を設定。画面に温度設定数値（１～５までの１桁の数字）が表示されていない時は、弱運転スイッチを１回押します。その後、弱運転スイッチを押し、湯温を設定します。（１～２に設定）

③ 土間コン温度コントローラーの運転スイッチをオン。

④ その後、土間コン温度コントローラーの温度調整スイッチで土間コンクリート内の温度設定を行います。（25 ～ 28℃を目安に。体感によって調節してください）

⑤ タイマー運転させる時は、（タイマー）押す。

⑥ タイマーを毎日運転させる時は、さらに（毎日）を押す。

タイマーによって運転が停止している時も、ボイラーは常時「入」の状態になります。したがってその際は、

①作動音がする場合があります。

②長時間運転していると、ガスメーターの安全装置が感知して自動的にガスがストップする場合があります。ストップした場合は、ガスメーターの復帰手順にしたがって操作を行うと、復帰して使えるようになります。

《運転停止》

ボイラーコントローラー及び、土間コン温度コントローラーの運転スイッチを切ります。

お問い合わせ「故障かな？」と思ったら、それぞれの取扱説明書に解説がございます。不明な点やトラブルがございましたらご連絡下さい。

エアサイクル産業株式会社
http://www.passive.co.jp
東京都中央区銀座2-8-4 泰明ビル３階
Tel 03-3538-2110　Fax 03-3538-2120
E-mail:passive.@pppac.com

2005.1作成